

資料2 健康な農村づくり活動の実態調査

(雄勝町秋の宮真木・堰の口部落健康診断を中心に)

衛生科学研究所, 湯沢保健所, 雄勝町, 雄勝郡医師会,

I 目 的

本県においても、いわゆる健康農村建設、農村婦人の健康等、健康な農村をつくるための活動が、各地で行なわれている。

この調査は、雄勝町秋の宮真木部落、堰の口部落が、これまでの衛生事業の盲点になっていることから、湯沢保健所、雄勝町より、当衛生科学研究所も参加して実態調査をしてほしいとの依頼をうけたことより、これを契機に、農村の健康化への道を見つめることを目的に総合的な調査を行ない、地区診断のモデル地区として実施することとなったものである。調査は、48年5月7、8日に行なわれたが、実施にあたり、度重なる事前打合せを行ない事業への具体的なつづめを行なった。本県における総合的な調査の一事例として、今後の反省資料として、報告するものである。

II 調査実施までの経緯

A 雄勝町秋の宮真木部落(戸数22, 人口105人), 堰の口部(落戸数21, 人口87名)は雄勝町から車で20分、国道に面しており、誠に便利な地区でありながら、むしろ衛生問題において、保健所も町も、とりのこしてきた感じがあるとして、雄勝町より湯沢保健所に両部落の健康づくりに協力してほしいとの申し入れがあった。(昭47年8月)

B 湯沢保健所より、衛生科学研究所に協力方の依頼があった。(昭47年9月)

C 衛生科学研究所はこの申し入れを受け、48年度事業として、予算要求を行なった。

D 第1回衛生科学研究所内会議において、疫学調査健康調査、環境調査の総合的実施として、各科が、一体となって参加する案を出し、次回まで各科の意図する事項を持ちよることになり、あわせて現地の具体的な希望もそれまで得ることが提案された。(昭48年1月)

E 雄勝町役場における打合せ会

1 参考資料(別紙1)

2 参加人員

a 町(町長, 助役, 住民課長, 係長, 職員2名, 婦人会長, 民生委員2名)

b 保健所(所長, 母子係)

c 衛研(生活科学部長)

3 この会議における町側の希望。

a 県のモデル地区として実施してほしい。

b 調査の感覚でなく、移動保健所的な感じを地元の方に与えるような配慮が欲しい。

c 健康調査を先行し、問題が出たら、環境調査、家系調査に入ってもらいたい。

d ききとりは、すべて会場で行ない、家庭にはなるべく遠慮してほしい。

e 実施は、48年5月7日から12日までの田植前にしてほしい。

4 作業分担

a 町は部落の概況をまとめること。

b 保健所は、人口動態統計、町及び地区の連けいを分担。

c 衛研は、健康調査の具体的な計画をたてる。(昭48年1月)

F 第2回所内会議において、環境面は、環境調査の必要の目標がたった時点で参加するとの意見が出た。一方、役場会議における町の健康調査先行の要望もあることより、5月の実施に際しては、成人病科、母子衛生科、食品栄養科の共同で健康調査を行なうこととなった。(昭48年2月)

G 県公衆衛生課に衛研より事業実施計画の連絡を行なう。(昭48年4月)

H 合同打合せ会(昭48年4月16日)

衛研、保健所、雄勝町合同の最終打合せ会を衛研会議室で実施した。すなわち別紙会議資料により、調査目的の確認、健診実施方法、担当スタッフ、器材の確認等の具体的な打合せ会を行ない、それぞれの協力体制を固めた。なお、健診案内状は雄勝町で発送することとした。

I 保健所より、雄勝郡医師会に協力方依頼に対し、全面的に協力する旨の連絡をうけ、各科専門医(内科、小児科、耳鼻科、眼科、皮膚科)の参加による総合健診が計画された。(昭48年4月)(別紙2~8)

III 調査方法

調査は次の事項について行なうこととした。すなわ

ち、

A 地区の概況、ならびに地区の現在までの歴史的情報を、古老より伺う。

B 保健婦訪問による、特に遺伝的素因を有すると思われる世帯の家系調査。

C 人口動態統計、死亡票調査

D 衛生事業、国民健康保険受診状況

E 健康診断

F 栄養調査

なお、健康診断、栄養調査実施方法は、打合せ会資料の別紙2のとおりである。

IV 成 績

A 地区の概況、及び歴史的情報

真木部落（以下真木）、堰の口部落（以下堰の口）は、雄勝町に属し、その位置ならびに人口、世帯等は図1、表1に示すとおりである。

図1

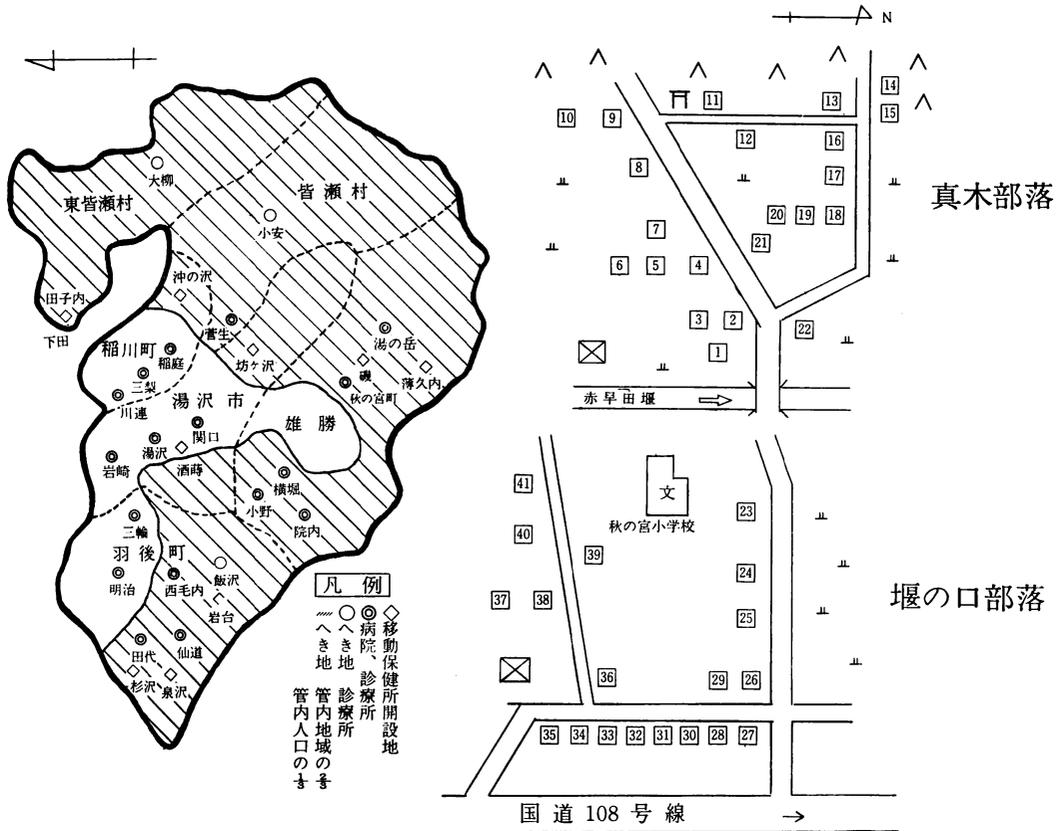


表1 地区の概況

年度 地区	昭和44年度			昭和45年度			昭和46年度			昭和47年度			昭和48年度		
	雄勝町	真木	堰の口												
世帯数	3,095	22	21	3,092	22	21	3,071	22	21	3,063	22	21	3,055	22	21
人口	14,346	103	103	14,349	103	103	13,668	103	81	13,461	103	83	13,200	106	87
国保加入世帯数	2,396	18	16	2,345	18	16	2,327	18	17	2,318	18	16	2,296	18	16
〃 世帯加入率	77.4	81.8	76.2	75.8	81.8	76.2	75.8	81.8	81.0	75.7	81.8	76.2	75.2	81.8	76.2
国保被保険者数	10,302	95	86	9,849	91	86	9,721	88	66	9,544	79	67	9,405	73	65
〃 加入率	71.8	92.2	83.5	68.6	88.3	83.5	71.1	85.4	81.5	70.9	76.7	80.7	71.3	68.9	74.7

生保受給世帯数	122	0	3	113	0	3	69	0	3	138	0	4	—	0	4
〃 人員	302	—	11	306	—	11	—	—	11	—	—	11	—	—	11
率 (対世帯)	3.9	—	14.3	3.7	—	14.3	2.2	—	14.3	4.5	—	19.0	—	—	19.0
医師数 (一般)	6	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0
〃 (歯科)	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0
開業助産所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校在籍数	1,539	4	4	1,458	6	6	1,378	6	5	1,264	6	5	1,171	7	7
中学校在籍数	1,001	3	6	912	2	4	862	2	2	843	5	2	803	5	4
民生委員数	44	1	1	44	1	1	44	1	1	44	1	1	44	1	1
保健協力組織	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1	1

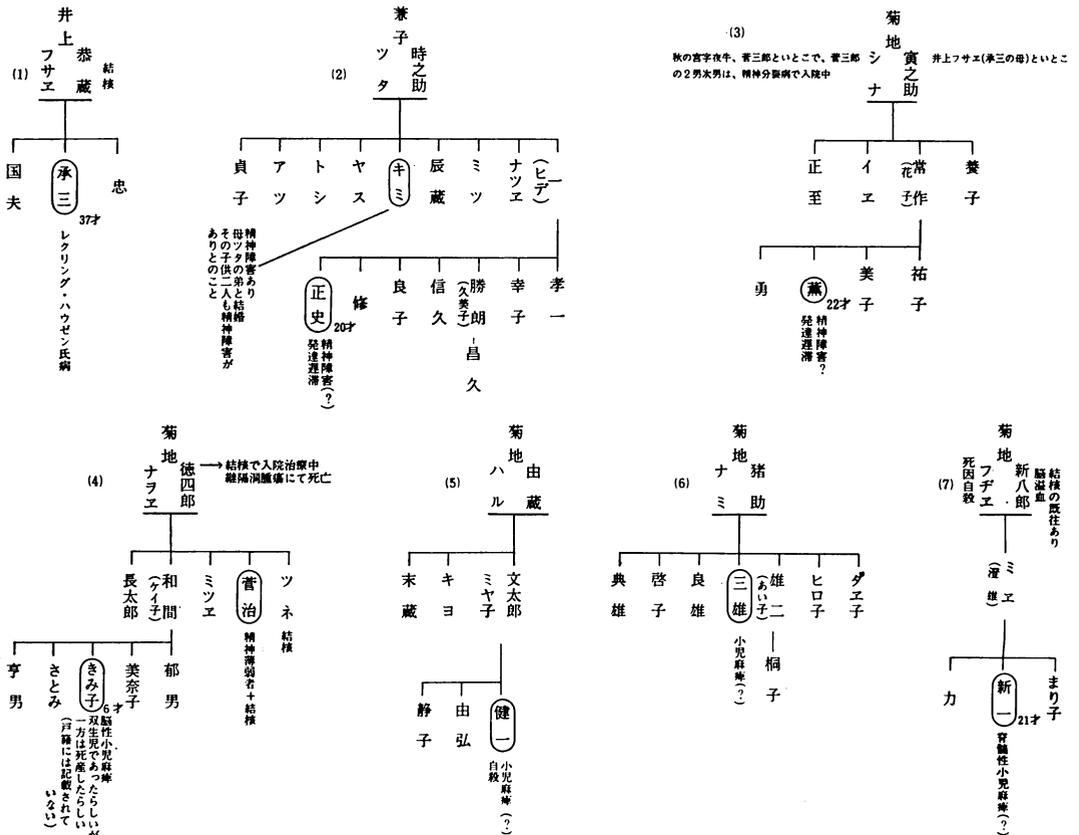
また、雄勝町民生委員、加藤祐氏（64才）の資料によれば、山林を背景に真木の沢の扇状地開拓による集落として土着し今日に至っている。旧幕時代は、真木12軒といわれ、当時としては、中農（一町歩以上）の集落のようである。明治以後現在までいろいろな変化を生じた。現在の真木22戸の中、16戸が菊地姓で、同一祖先を頂点とする未裔は15戸で、1戸は系統が別である。外の6戸

は、主に関の口から移入した住民で関の口（現在の堰の口）と真木とは極めて交渉が深い。

B 家系調査

真木22戸の中、遺伝的要因の考慮が必要と思われた疾病を有する7世帯について、雄勝町保健婦による家系調査を行なったが、その結果は図2（1 2 3 4 5 6 7）の

図2



とおりである。これらの世帯をみると、かつては、この地域に結核の流行があったことと、精神障害を伴う素因のある家族が想定される。このことは、前記加藤氏の資料からも裏付けられるように思われる。

C 主なる人口動態統計，死亡票調査

昭和47年12月末の真木、堰の口の年齢階級別人口は、表2の如くである。出産年齢人口、特に適令期の在住者が少なく、出生も年間1～2名にすぎない。昭和44年～48年の主なる人口動態統計は表3に示すとおりである。

また、死亡状況を昭和34年～47年の死亡票（41，42年欠）でみると、表4の如く真木13名、堰の口10名で、死因は脳出血、悪性新生物、事故が主なものである。

表2 年齢階級別人口 昭47.12

年齢階級	部落		計	堰の口		計
	真	木		男	女	
0～14	15	6	21	4	10	14
15～19	2	1	3	1		1
20～29	5	10	15	1	5	6
30～39	8	4	12	3	3	6
40～49	6	8	14	3	8	11
50～59	5	7	12	7	9	16
60～	6	10	16	9	11	20
合計	47	46	93	28	46	74

表3 年次別人口動態

事項	年度	昭和44年度		昭和45年度		昭和46年度		昭和47年度		昭和48年度	
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
出生	雄勝町	142	9.9	166	11.6	131	9.6	150	11.1	151	11.4
	真木	2	19.4	1	9.7	1	9.7	1	9.7	1	9.4
	堰の口	0		0		2	24.7	2	24.1	0	
死亡	雄勝町	123	857.4	133	926.9	103	753.6	114	846.9	121	916.7
	真木	1	970.9	1	970.9	1	970.9	1	970.9	2	1886.8
	堰の口	1	970.9	1	970.9	1	1234.6	0		1	1149.4
乳児死亡	雄勝町	0		0		0		1	6.7	0	
	真木	0		0		0		0		0	
	堰の口	0		0		0		0		0	
新生児死亡	雄勝町	0		0		0		0		0	
	真木	0		0		0		0		0	
	堰の口	0		0		0		0		0	
死産	雄勝町	0		0		0		0		0	
	真木	0		0		0		0		0	
	堰の口	0		0		0		0		0	

表4

死亡票調査 昭和34~47年 (昭和41, 42年欠)

真 木			堰 の 口		
年 令	性	死 亡 原 因	年 令	性	死 亡 原 因
27	男	農 業 中 毒 死 (自 殺)	1才1ヵ月	女	心 臓 衰 弱
86	男	老 衰	68	男	蜘 蛛 膜 下 出 血
80	男	心 臓 弁 膜 症 及 び 心 臓 性 喘 息	68	男	脳 出 血, 脳 膜 出 血
76	男	脳 出 血	61	女	溺 死
75	男	胃 幽 門 部, 肝 癌	56	男	心 衰 弱
65	男	脳 出 血	48	男	胃 癌
44	男	脳 溢 血	76	男	脳 出 血
71	男	脳 出 血	62	男	脳 塞 栓
83	女	脳 出 血	66	女	原 発 性 肺 癌
66	女	縊 死	75	男	心 不 全
80	男	縦 隔 腫 瘍			
75	男	脳 出 血			
91	女	急 性 心 臓 衰 弱			

D 衛生事業, 国保受診状況

器, 胃, 子宮癌) 検診, ならびに寄生虫卵検査, 乳児, 三才児健診等が行なわれている。

衛生に関する健診業務として, 結核, 成人病(循環

表5

結核検診状況 (一般住民)

事 項	年 度 地 区	昭 和 45 年 度			昭 和 46 年 度			昭 和 47 年 度			昭 和 48 年 度		
		雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口
対 象 者 数		7,291	54	55	6,939	57	54	6,616	54	56	6,592	49	61
受 診 者 数 A		6,852	51	45	5,661	50	45	5,728	52	49	6,166	49	56
受 診 率		94.0	94.4	81.8	81.6	87.7	83.3	86.6	96.3	87.5	93.5	100.0	91.8
要 治 療	数 B	10	0	0	2	0	0	—	0	0	—	0	0
	率 B/A	0.15			0.04			—			—		
要 注 意	数 C	5	0	0	3	0	0	—	0	0	—	0	0
	率 C/A	0.07			0.05			—			—		

表6

循環器検診状況

事項		昭和46年度			昭和47年度			昭和48年度		
		雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口
循環器検診	対象者数	5,443	37	37	4,878	38	34	5,038	46	38
	受診者数A	3,650	31	12	3,796	34	31	4,073	42	35
	受診率	67.1	83.8	32.4	77.8	89.5	91.1	80.8	91.3	92.1
	要精検者数B	514	8	4	492	3	4	478	0	0
	率 B/A	14.1	25.8	33.3	13.0	8.8	12.9	11.7		
精検結果	受診者数C	298	3	0	298	3	4	273	0	0
	率 C/B	58.0	37.5		60.6	100.0	100.0	57.1		
	要治療者数D	250	3	0	185	2	2	148	0	0
	率 D/B	48.6	37.5		37.6	66.7	50.0	31.0		
	要注意者数E	39	0	0	106	0	2	95	0	0
	率 E/B	7.6			21.5		50.0	19.9		
	正常者数F	9	0	0	7	1	0	30	0	0
率 F/B	1.8			1.4	33.3		6.3			

表7

胃集団検診(30才以上)

事項		昭和46年度			昭和47年度			昭和48年度		
		雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口
対象者数		6,164	61	55	4,878	38	34	5,038	46	48
受診者数A		295	14	7	460	10	2	438	5	2
受診率		4.8	23.0	12.7	9.4	26.3	5.9	8.7	10.9	4.2
要精検者数B		155	2	1	157	5	0	119	1	0
率 B/A		52.5	14.3	14.3	34.1	50.0		27.2	20.0	

表8

子宮癌検診

事項		昭和45年度			昭和46年度			昭和47年度			昭和48年度		
		雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口
対象者数								2,878	38	34	2,879	46	38
受診者数A		174	1	2				177	3	1	226	6	3
受診率								6.2	7.9	2.9	7.8	13.0	7.9
要精検者数B		38	0	0				0	0	0	1	0	0
率 B/A		21.8									0.4		
要治療者数C		0	0	0				0	0	0	1	0	0
率 C/A											0.4		

要 注 意 者 数 D	0	0	0				0	0	0	0	0	0
率 D/A												

表9 寄 生 虫 卵 検 査 状 況 (一般住民)

事 項	年 度 地 区	昭 和 45 年 度			昭 和 46 年 度			昭 和 47 年 度			昭 和 48 年 度		
		雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口
対 象 者 数		4,754			5,752			10,411	92	73	10,230	77	71
検 査 人 員 A		2,047			2,369			5,472	53	31	5,239	56	38
実 施 率		43.1			41.2			52.6	57.6	42.5	51.2	72.7	53.5
保 有 卵 者 数	蛔 虫 B	50			38			92	0	0	43	1	0
	率 B/A	2.4			1.6			1.7			0.8	1.8	
	十二指腸虫 C	0			0			0	0	0	0	0	0
	率 C/A												
	そ の 他 D	24			32			81	0	0	12	0	0
率 D/A	1.2			1.4			1.5			0.2			
服薬後対象者数							125	0	0	53	1	0	
検 査 人 員 A'							78			38	1		
実 施 率							62.4			71.7	100.0		
保 有 卵 者 数	蛔 虫 B'						6			0	0		
	率 B'/A'						7.7						
	十二指腸虫 C'						0			0	0		
	率 C'/A'												
	そ の 他 D'							7			0	0	
率 D'/A'							9.0						

表10 乳 児 健 診 状 況

事 項	年 度 地 区	昭 和 45 年 度			昭 和 46 年 度			昭 和 47 年 度			昭 和 48 年 度		
		雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真 木	堰の口	雄勝町	真 木	堰 の 口
対 象 者 数		911	11	0	994	3	2	864	11	10	918	11	2
受 診 者 数		608	7		587	2	1	443	7	2	583	4	2
受 診 率		66.7	63.6		59.1	66.7	50.0	51.3	63.6	20.0	63.5	36.4	100.0
異 常 者 数		95	0		56	1	1	39 (顔面湿疹) ₁	0	0	139 (顔面湿疹) ₁	(ロート胸) ₁	
異 常 率		15.6			9.5	50.0	100.0	8.8	14.3		23.8	25.0	50.0

表11 三才児健診状況

事項	昭和47年度			昭和48年度		
	地区			地区		
	雄勝町	真木	堰の口	雄勝町	真木	堰の口
対象者数	158	2	0	152	2	0
受診者数	145	2		140	2	
受診率	91.8	100.0		92.1	100.0	
異	皮膚疾患	6	0	7	0	
	整形外科的疾患	0	0	1	0	
	眼科疾患	0	1	4	0	
	耳鼻科疾患	0	0	1	0	
	呼吸器疾患	3	0	1	0	
常	精神発達	0	0	0	0	

先天性疾患	0	0	0	0
計	9	1	14	0
異常者率	6.2	50.0	10.0	0
う歯保有者	121	2	126	2
率	83.4	100.0	90.0	100.0

また、罹病状況を知る上で、48年5月分の国民健康保険レセプトより、年令別疾病順位、受診状況、国保医療費状況をみた。年令の上昇と共に疾病の種類、受診率も高い傾向で、特記すべき事項はみられない。真木において4～19才の先天異常の医療費が第1位となっているが、脳性小児麻痺（6才女児）で、現在入院加療中の1名分の費用である。

表12 国保、年令別疾病順位（昭和48年5月分レセプト）

事項	年令	1才未満	1～3才	4～19才	20～39才	40～59才	60～69才	70才以上
真木	1位	その他の泌尿器系の疾患	肺炎	その他の呼吸器系の疾患	歯及び歯の支持組織の疾患	神経系の疾患	高血圧性疾患	虚血性心疾患
	2		その他の呼吸器系の疾患	先天異常	その他の妊娠産褥の合併症	その他の肝臓の疾患	脳血管疾患	高血圧性疾患
	3			眼の炎症性の疾患	分娩症の記載のない分娩	喘息	その他の耳の疾患	
	4					消化性潰瘍	関節炎及び類似症	
	5					その他の筋骨格系及び結合組織の疾患		
	6					その他の循環器の疾患		
	7					高血圧性疾患		
堰の口	1位			肺炎	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患	高血圧性疾患
	2			その他の消化器系の疾患	歯及び歯の支持組織の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	慢性関節リウマチ及び類似症	虚血性心疾患
	3			その他の呼吸器系の疾患		その他の呼吸器系の疾患		気管支炎及び肺気腫
	4			気管支炎及び肺気腫		歯及び歯の支持組織の疾患		その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
	5			その他の皮膚及び皮下組織の疾患				
	6							
	7							

表13 国保年令別受診状況
(昭和48年5月分レセプト)

部落	年令階級	事項	被保険者	受診数	受診率
真	1才未満		1人	1回	100.0
	1～3才		1	4	200.0
	4～19才		15	4	26.7
	20～39才		20	4	20.0
	40～59才		18	7	38.9
木	60～69才		9	7	77.8
	70才以上		4	3	75.0
	計		69	30	43.5

堰	1才未満	1	0	
	1～3才	0	0	
	4～19才	12	5	41.7
	20～39才	6	2	33.3
	40～59才	23	7	30.4
	60～69才	5	3	60.0
	70才以上	10	5	50.0
計	57	22	38.6	

表14 国保、医療費状況 (昭和48年5月分レセプト)

事項	順位	雄勝町			真木			堰の口		
		疾病	医療費	%	疾病	医療費	%	疾病	医療費	%
総数			円 13,526,520		円 203,560			円 186,060		
1	高血圧性疾患	4,638,270	34.3	先天異常	71,930	35.3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	76,070	40.9	
2	歯及び歯の支持組織の疾患	2,003,660	14.8	高血圧性疾患	24,980	12.3	高血圧性疾患	29,820	16.0	
3	その他の胃及び十二指腸の疾患	974,110	7.2	虚血性心疾患	21,200	10.4	脳血管疾患	21,170	11.4	
4	その他の損傷	947,870	7.0	神経系の疾患	14,400	7.1	皮膚及び皮下組織の疾患	20,400	11.0	
5	急性呼吸器感染	807,320	6.0	脳血管疾患	12,880	6.3	慢性関節リュウマチ及び類似症	10,420	5.6	
6	神経系の疾患	677,410	5.0	その他の肝臓の疾患	10,750	5.3	気管支炎及び肺炎腫	6,720	3.6	
7	虫垂炎	657,780	4.9	肺炎	8,020	3.9	歯及び歯の支持組織の疾患	6,470	3.5	
8	糖尿病	605,530	4.5	その他の耳疾患	7,360	3.6	虚血性心疾患	5,550	3.0	
9	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	481,430	3.6	消化性潰瘍	5,600	2.8	その他の呼吸器系の疾患	3,120	1.7	
10	関節炎及び類似症	423,300	3.1	その他の循環器の疾患	4,760	2.3	肺炎	2,970	1.6	

E 健康診断

昭和48年5月6日、7日の両日にわたり、真木、堰の口両地区の健康診断を実施した。保健所、雄勝町当局のPRもよく、在住者に対する受診状況は、真木で97.0%、堰の口97.0%で、未受診者は両地区で、それぞれ2名、計4名である。

雄勝郡医師会の全面的な協力により、一般内科、小児科、耳鼻科、眼科、皮膚科および歯科それぞれの専門医による診察を行ない、あわせて秋田大学、中央児童相談所心理判定員による面接を全員に実施し、精神面からのチェックを行なった。

検査事項として、15才以上に尿検査（蛋白、糖、ウロビリノーゲン）、血液検査（全血比重、血色素、ABO血液型、梅毒検査）、胸部X線写真、EKGを実施した。なお、乳児、幼児には先天性代謝異常スクリーニングとして、濾紙法によるフェニルケトン尿検査の外、オルトトリジン反応、イサチン反応、ミロン反応等を行ない、アミノ酸、糖等の代謝異常の有無を行なったが全員陰性である。

表16～26は健診結果一覧であるが、男女あわせて確定診断の中の主なる疾病は、真木で、心筋障害1名、糖尿病1名、肺炎腫3名、中耳性難聴1名、白内障1名、レクリングハウゼン氏病1名、精神発達遅滞3名である。

表15

年齢階級別対象者数, 受診状況

対象 ・ 年齢階級	部落		真 木						堰 の 口							
	性		男		女		計		備 考	男		女		計		備 考
	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者		対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者	
0 ~ 14	15	15	7	6	22	21	不在女1		4	4	11	10	15	14	不在女1	
15 ~ 19	3	2	5	1	8	3	不在男1 女4		4	1	1	0	5	1	不在男3 女1	
20 ~ 29	7	5	10	10	17	15	不在男2		6	1	7	5	13	6	不在男5 女2	
30 ~ 39	8	8	4	4	12	12			4	3	3	3	7	6	不在男1	
40 ~ 49	7	6	8	8	15	14	不在男1		3	3	8	8	11	11		
50 ~ 59	6	5	7	6	13	11	不在男1 (拒否女1)		8	7	9	8	17	15	不在男1 (拒否女1)	
60 ~	6	6	13	9	19	15	不在女2 死亡女1 (歩行不能女1)		9	9	13	10	22	19	入院中女1死亡女1 (拒否女1)	
不明											2		2		不在女2	
計	52	47	54	44	106	91	15		38	28	54	44	92	72	20	
受診率	97.8% (調査時点における在住者対)								97.3% (調査時点における在住者対)							

堰の口は心筋障害4名, 梅毒2名で, 両地区の疾病の様相がやや異なる。表30の総合診断にみる如く, 継続治療, 再検査, 経過観察, 保健婦訪問の必要と思われる者は, 両地区において大差はない。

歯科所見では, 受診者のほとんどが, むし歯を持って

おり, むし歯のない者は, 両地区合せ4名のみである。

また, 血液検査時の血清で, 風疹ウイルスの抗体検査を行なったが, 15才以上の抗体保有率は, 真木85.5%, 堰の口 100%である。

表16

職 業

事項	部落		真 木										堰 の 口										合 計								
	性		男					女					男					女					男	女							
	対象者数	受診者数	0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	0	15			20	30	40	50			
	14	19	29	39	49	計	14	19	29	39	49	計	14	19	29	39	49	計	14	19	29	39	49	計							
農 業				3	3	8	14			2	1	6	4	13				2	3	9	14			1	4	5	10	28	23		
農 業 手 伝			2				2				1		1															2	1		
林 業				1	1		2													1	1								3		
公 務 員			1	1	1	1	4												1	1			2		1		1	6	1		
会 社 員			1	1	1		3			2	1		3											2	1		3	3	6		
運 転 手			1	1			2																						2		
家 事										1	1	3	5												4	4			9		
そ の 他				1			1		4		1		5		1					1		1	2		1	2	2	1	6	3	11
な し						2	2		1		6	7								5	5								7	7	
記 載 な し									1	1	1	3												1	1	8	10		13		

※真木 { 乳幼児男 9名 女3名 小学生 4名 2名 中学生男2名 女1名 高校生 2名 1名 } ※堰の口 { 乳幼児男 2名 女4名 小学生 3名 中学生 男2名 女3名 高校生 }

表17

既 往 歴

事 項	部 落 名		真 木										堰 の 口										合 計							
	性	年令階級	男					女					男					女					男	女						
			0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	0	15			20	30	40	50		
			14	19	29	39	49	14	19	29	39	49	14	19	29	39	49	14	19	29	39	49			14	19	29	39	49	
受診者数	15	2	5	8	6	11	47	6	1	10	4	8	15	44	4	1	1	3	3	16	28	10	0	5	3	8	18	44	75	88
高 血 圧					6	6				1	9	10					3	3						1	5	6	9	13		
心 臓 病			1			1					1	3	4				1	1						1	2	3	2	7		
腎 臓 病											1	2	3											1	1	1	4			
糖 尿 病					1	1					1	1											1	1	1	2				
神経痛, リュウマチ					2	2					1	8	9					5	5						3	5	8	7	17	
眼 科 疾 患	1			1		2		1				1				1	1	2						1	1	2	4	3		
耳 鼻 科 疾 患		1			2	3	1			1	2	4															3	4		
肺 疾 患					1	1					1	1	2	1				3	4					1	1	2	5	4		
胃・十二指腸潰瘍					1	2	3				1	1					1	1						1	1	4	2			
子 宮 筋 腫											1	1												2		2	3			
妊 娠 中 毒 症											1	1															1			
外 傷			1	1	1	1	4						1			2	1	5	9	1					1	2	4	13	4	
そ の 他	9	2	2	3	1	3	20	5		2	2	3	9	21					6	6	4	5	1	8	8	26	26	47		
な し	7		2	4	2		15	1	1	7	2	3	1	15	1	1	1	1	1	5	10	4	1	1	3	9	25	24		
記 載 な し	1				1	1	3	1					1	1			1		2	1				1		2	5	3		

※ダブルチェック

表18

調 査 時 受 療

事 項	部 落 名		真 木										堰 の 口										合 計							
	性	年令階級	男					女					男					女					男	女						
			0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	0	15			20	30	40	50		
			14	19	29	39	49	14	19	29	39	49	14	19	29	39	49	14	19	29	39	49			14	19	29	39	49	
受診者数	15	2	5	8	6	11	47	6	1	10	4	8	15	44	4	1	1	3	3	16	28	10	0	5	3	8	18	44	75	88
高 血 圧					3	3				1	1	2					3	3						4	4	6	6			
心 臓 病											1	1															1			
糖 尿 病											1	1															1			
神経痛・リュウマチ					1	1					1	2	3					1	1						2	2	2	5		
慢性気管支炎																								1	1	1	1			
胆 の う 炎																								1	1	2	2			
胃 腸 炎																								1	1	1	1			
腎 尿 管 結 石																								1	1	1	1			
変 形 脊 椎 症																								1	1	1	1			

自覚症なし	1	4	3	1	9	1	2	1	2	7	1	1	1	2	5	3	1	1	5	14	12
記載なし				1	1																1

※ダブルチェック

表 妊娠・自然流産・死産・人工妊娠中絶

部落	事項 受診者数	年齢階級	妊 娠			自然流産		死産	人工妊娠中絶		
			1~2回	3~5回	6回以上	1回	2回以上	1回	1回	2回	
真木		20 ~ 29	10	6							
		30 ~ 39	4	2	2				1		
		40 ~ 49	8	2	6	2			2	1	
		50 ~	15	2	4	9	1	1	1	1	
	計	37	12	12	9	3	1	1	4	1	
堰の口		20 ~ 29	5	2			1				
		30 ~ 39	3	2	1					1	
		40 ~ 49	8		5		1			3	
		50 ~	18	1	6	10		2	2	1	2
		計	34	5	12	10	2	2	2	4	3
合 計		71	17	24	19	5	3	3	8	4	

表21 一 般 検 査 (1) 血 圧・尿

部落	事項 年齢階級	血 圧 値						尿 所 見									
		男			女			男				女					
		受診者数	140 ~90	率	受診者数	140 ~90	率	受診者数	蛋白 十以上	率	糖 十以上	率	受診者数	蛋白 十以上	率	糖 十以上	率
真木	15 ~ 19	2	1	50.0	1			2			1	50.0	1				
	20 ~ 29	5	2	40.0	10			5					9				
	30 ~ 39	8	5	62.5	4	2	50.0	8					4				
	40 ~ 49	6	3	50.0	8	4	50.0	6					8				
	計	32	20	62.5	38	20	52.6	32	1	3.1	2	6.3	37	0			0
堰の口	15 ~ 19	1			0			1					0				
	20 ~ 29	1			5			1	1	100.0			5				
	30 ~ 39	3			3			3					3				
	40 ~ 49	3	2	66.7	8	1	12.5	3					8	2	25.0		
	50 ~	16	9	56.3	18	15	83.3	16	1	6.3	1	6.3	18			1	5.6
	計	24	11	45.8	34	16	47.1	24	2	8.3	1	4.2	34	2	5.9	1	2.9
合 計		56	31	55.4	72	36	50.0	56	3	5.4	3	5.4	71	2	2.8	1	1.4

表22

検 査 所 見 (2) 胸 部 X 線 ・ 心 電 図

部落	事 項 年 令		胸 部 X 線						心 電 図 所 見					
			男			女			男			女		
			受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率
真木	16 ~ 19	2	1	50.0	1			2			1			
	20 ~ 29	5			9	2	22.2	5			10			
	30 ~ 39	8			4			8			4	1	25.0	
	40 ~ 49	6	1	16.7	8			6	1	16.7	8			
	50 ~	11	8	72.7	15	5	33.3	11	2	18.2	15	4	26.7	
	計	32	10	31.3	37	7	18.9	32	3	9.4	38	5	13.2	
堰の口	16 ~ 19	1						1						
	20 ~ 29	1			5	1	20.0	1			5			
	30 ~ 39	3			3			3			3			
	40 ~ 49	3	1	33.3	8	1	12.5	3	1	33.3	8	2	25.0	
	50 ~	16	7	43.8	18	6	33.3	16	3	18.8	18	6	33.3	
	計	24	8	33.3	34	8	23.5	24	4	16.7	34	8	23.5	
合 計		56	18	32.1	71	15	21.1	56	7	12.5	72	13	18.1	

表23

一 般 査 査 (3) 一 全 血 比 重, 血 色 素, 梅 毒 反 応, 風 疹 ウ イ ル ス 抗 体

部落	性 事 項 年 令 階 級		男						女							
			受診者数	全血比重		血色素		梅毒反応 + 疑	風疹ウイルス 抗体 (+)	受診者数	全血比重		血色素		梅毒反応 + 疑	風疹ウイルス 抗体 (+)
				1051以下	率	11g/ab以下	率				1051以下	率	11g/ab以下	率		
真木	15 ~ 19	2						2	1							
	20 ~ 29	5						4	10	4	40.0	2	20.0		7	
	30 ~ 39	8	1	12.5			1	8	4		1	25.0		3		
	40 ~ 49	6						6	8	1	12.5	1	12.5		8	
	50 ~	11	1	9.1			1	9	15	3	20.0				12	
	計	32	2	6.3	0		0	2	29	38	8	21.1	4	10.5	0	30
堰の口	15 ~ 19	1						1	0							
	20 ~ 29	1						1	5	1	20.0				5	
	30 ~ 39	3						3	3	1	33.3				3	
	40 ~ 49	3						3	8	2	25.0		1		8	
	50 ~	16	2	12.5	1	6.3		16	18	3	16.7	2	11.1	1	2	18
	計	24	2	8.3	1	4.2	0	24	34	7	20.6	2	5.9	2	2	34
合 計		56	4	7.1	1	1.8	0	2	53	15	20.8	6	8.3	2	2	64

※真木 20~29才の女1名, 全血比重未検査

表24

身体状況 (1)一耳鼻咽喉一

部落	事項 年齢階級	耳 所 見						鼻 咽 喉 所 見					
		男			女			男			女		
		受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率
真	0 ~ 14	9			6			10	2	20.0	6	2	33.3
	15 ~ 19	2	1	50.0	1			2			1		
	20 ~ 29	5			10			5			10		
	30 ~ 39	8	1	12.5	4	1	25.0	8	2	25.0	4		
	40 ~ 49	6			8			6			8	1	12.5
木	50 ~	9	(2) 3	(22.2) 33.3	13	(1) 2	(7.7) 15.4	8	4	50.0	13	2	15.4
	計	39	(2) 5	(5.1) 12.8	42	(1) 3	(2.4) 7.1	39	8	20.5	42	5	11.9
堰 の 口	0 ~ 14	4			6			4	1	25.0	6	2	33.3
	15 ~ 19	1	(1) 1	(100.0) 100.0	0			1			0		
	20 ~ 29	1			5			1			5		
	30 ~ 39	2			3	1	33.3	2			3		
	40 ~ 49	2			8	1	12.5	2			8		
	50 ~	14	(1) 1	(7.1) 4.2	18	(1) 2	(5.6) 11.1	14			18	3	16.7
	計	24	(2) 1	(8.3) 4.2	40	(1) 4	(2.5) 10.0	24	1	4.2	40	5	12.5
合 計	63	(4) 6	(6.3) 9.5	82	(2) 7	(2.4) 8.5	63	9	14.3	82	10	12.2	

※ () は聴力異常 ※※ダブルチェック

表25

身体状況 (2)一眼・皮膚一

部落	事項 年齢階級	眼 科 所 見						皮 膚 科 所 見					
		男			女			男			女		
		受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率
真	0 ~ 14	7	1	14.3	3	1	33.3	15	5	33.3	6	1	16.7
	15 ~ 19	2	2	100.0	1			2	2	100.0	1		
	20 ~ 29	4			10	3	30.0	5			10	5	50.0
	30 ~ 39	9	3	33.3	4			8	4	50.0	4	2	50.0
	40 ~ 49	4	1	25.0	8	2	25.0	6	1	16.7	8	1	12.5
木	50 ~	10	8	80.0	14	9	64.3	9	9	100.0	15	3	20.0
	計	36	15	41.7	40	15	37.5	45	21	46.7	44	12	27.3
堰 の	0 ~ 14	4			6	2	33.3	4	3	75.0	6	2	33.3
	15 ~ 19	1						1					
	20 ~ 29	1			5	1	20.0	1			5		
	30 ~ 39	3			3	1	33.3	3			3	1	33.3

口	40 ~ 49	3	(2)	(66.7)	8	1	12.5	3	1	33.3	7	2	28.6
	50 ~	15	12	80.0	17	8	47.1	15	4	26.7	18	2	11.1
	計	27	(2) 12	(7.4) 44.4	39	13	33.3	27	8	29.6	39	7	17.9
合 計	63	(2) 27	(3.2) 42.9	79	28	35.4	72	29	40.3	83	19	22.9	

※眼疾未受診 真 木男 2名, 女 4名 ※※ダブルチェック ※※※() 色神異常
堰の口男 3名

表26 身 体 状 況 (3)一歯—

部落	事 項 年齢 階級	歯 及 び 口 腔 疾 患						う 歯					
		男			女			男			女		
		受診者数	異常あり	率	受診者数	異常あり	率	受診者数	あり	率	受診者数	あり	率
真	0 ~ 14	6	2	33.3	3			11	11	100.0	6	6	100.0
	15 ~ 19	2			1			2	2	100.0	1	1	100.0
	20 ~ 29	5	1	20.0	10			5	5	100.0	10	10	100.0
	30 ~ 39	8			4	1	25.0	8	7	87.5	4	4	100.0
	40 ~ 49	6			8	1	12.5	6	4	66.7	8	8	100.0
	計	37	5	13.5	38	2	5.3	41	38	92.7	41	41	100.0
木	0 ~ 14	4			6	1	16.7	4	4	100.0	7	7	100.0
	15 ~ 19	1	1	100.0				1	1	100.0			
	20 ~ 29	1	1	100.0	5	2	40.0	1	1	100.0	5	5	100.0
	30 ~ 39	2	2	100.0	3	3	100.0	2	1	50.0	3	3	100.0
	40 ~ 49	2			8	4	50.0	3	3	100.0	8	8	100.0
	計	24	13	54.2	40	19	47.5	25	24	96.0	41	41	100.0
堰	0 ~ 14	4			6	1	16.7	4	4	100.0	7	7	100.0
	15 ~ 19	1	1	100.0				1	1	100.0			
	20 ~ 29	1	1	100.0	5	2	40.0	1	1	100.0	5	5	100.0
	30 ~ 39	2	2	100.0	3	3	100.0	2	1	50.0	3	3	100.0
	40 ~ 49	2			8	4	50.0	3	3	100.0	8	8	100.0
	計	24	13	54.2	40	19	47.5	25	24	96.0	41	41	100.0
合 計	61	18	29.5	78	21	26.9	66	62	93.9	82	82	100.0	

※歯の色素異常なし

F 栄 養 調 査

1 栄 養 摂 取 量

真木部落男20名, 堰の口部落男19名についての栄養摂取量を表27に示した。

真木対象者の平均年齢は45才, 堰の口は50才である。これを, 厚生省が示した日本人の栄養所要量40代, 50代と比較してみる。

所要量の熱量は40代 2,300Cal, 50代 2,200Cal。たん白質両代とも70g, 脂肪は熱量の20%として約50g, カ

ルシウム600mg, 鉄10mg, ビタミンA 2,000 I.U., ビタミンB₁1.0mg, ビタミンB₂40代1.2mg, 50代 1.1mg, ビタミンC60mgと比べ両部落とも摂取量の多い栄養素は熱量, たん白質, カルシウム, 鉄, ビタミンB₂とCである。とくに, 真木の熱量, たん白質, 鉄が顕著である。

所要量に比べ, とくに不足しているものはビタミンAであるが, 調理による損失を考慮すれば各ビタミンとも摂取増が望ましい。

次に, 両部落を比較すれば, 全栄養素とも真木の摂取量が多く, 熱量, たん白質, 糖質, 食塩, カリウムが顕著である。

表27 栄養摂取量 (1人1日当たりM±S.D.)

項目	地区	
	真木部落 男 N=20	堰の口部落 男 N=19
純 摂 取 量 g	2,300± 685	1,859± 296
熱 量 Cal	2,754± 775	2,229± 473
た ん 白 質 g	102.2± 24.5	82.8± 15.5
動 た ん g	51.6± 17.9	44.0± 11.0
脂 肪 g	45.6± 22.1	39.8± 16.1
動 脂 g	27.7± 14.8	23.8± 15.6
糖 質 g	456.2± 129.7	828.2± 66.9
カ ル シ ウ ム mg	700± 292	613± 379
リ ン mg	1,480± 360	1,237± 248
鉄 mg	21.8± 7.4	17.3± 4.6
ビ タ ミ ン A I.U.	1,636± 1,013	1,498± 1,451
〃 B ₁ mg	0.98± 0.37	0.84± 0.30
〃 B ₂ mg	1.42± 0.38	1.12± 0.33
〃 C mg	87± 50	75± 46
*食 塩 g	21.9± 5.7	17.7± 4.8
*カ リ ウ ム mg	2,195± 537	1,663± 409

*分析値

2 栄養比率

栄養比率を表28に示した。動たん比の所要量40%に比べ両部落とも高率を示している。動脂比についても秋田県の他の調査成績に比べ高率を示している。たん白Cal比は両部落とも同値で望ましい比率である、脂肪Cal比

表28 栄養比率 (1人1日当たりM±S.D.) %

項目	地区	
	真木部落 男 N=20	堰の口部落 男 N=19
動 た ん 比	48 ± 12	53 ± 9
動 脂 比	62 ± 16	59 ± 22
た ん 白 Cal 比	15 ± 3	15 ± 3
脂 肪 Cal 比	15 ± 6	16 ± 6
糖 質 Cal 比	66 ± 6	59 ± 8
穀 類 Cal 比	59 ± 13	51 ± 10
ア ル コ ー ル Cal 比	4 ± 5	9 ± 11

の所要量は20%で下回っている。

両部落栄養比率の特徴とも言えることは、真木が糖質および米などの穀類で熱量を占める率が高く、堰の口がアルコールよりの熱量比率が高いことである。

3 食品群別摂取量

食品群別摂取量を表29に示した。昭和45年厚生省発表の食糧構成基準に比べ、とくに、摂取量の多い食品群は真木の穀類である。とくに摂取量の少ないものは、油脂類、乳類で緑黄色野菜も不足しており、これらが、ビタミンAを少なくし、また、脂肪Cal比を低くしている。

両部落を比較してみると種実類(ピーナッツなど)酒類を除いた各食品群とも真木の摂取量が多く、穀類、菓子類、果実類、魚類、乳類がとくに上回っている。堰の口の酒類摂取量が真木の2.2倍であり、これらが栄養比率に関与をしているものと考えられる。使用食品数も真木が多い結果である。

表29 食品群別摂取量 (1人1日当たりM±S.D.)

食品群	地区		
	真木部落 男 N=20	堰の口部落 男 N=19	
穀 類	総 量	466 ± 120	336 ± 70
	米 類	419 ± 120	323 ± 79
	小 麦 類	47 ± 74	13 ± 44
	そ の 他 の 穀 類	0 ± 0	0 ± 0
い も 類	48 ± 69	43 ± 57	
砂 糖 類	3 ± 12	2 ± 4	
菓 子 類	80 ± 75	46 ± 55	
油 脂 類	4 ± 7	3 ± 6	
種 実 類	0 ± 0	9 ± 22	
大豆及び大豆製品	78 ± 53	56 ± 38	
そ の 他 の 豆 類	2 ± 9	0 ± 0	
緑 黄 色 野 菜	56 ± 61	48 ± 55	
そ の 他 野 菜 茸 類	252 ± 144	216 ± 140	
*つ け も の	79 ± 86	64 ± 57	
果 実 類	105 ± 130	61 ± 92	
海 草 類	12 ± 21	9 ± 10	
魚 介	生 物	93 ± 78	72 ± 75
	乾 物 そ の 他	60 ± 57	51 ± 44

獣	鳥	鯨	肉	類	51 ± 52	52 ± 50
卵				類	60 ± 49	58 ± 38
生				乳	54 ± 81	36 ± 72
乳				製	5 ± 15	3 ± 7
調	味	嗜	好	品	257 ± 325	346 ± 301
*				酒 (ml)	135 ± 220	309 ± 307
*み				そ	46 ± 16	41 ± 21
使用	植	物	性		16 ± 4	15 ± 4
食品数	動	物	性		5 ± 2	4 ± 2

*再掲

4 生体と栄養摂取の関連

普段の食事をするよう、とくに指導を行なった単日の栄養調査であるが、生体側の情報との関連をみてる。

栄養調査対象者の平均体重増減率は

真木……+16.0% 堰の口……+9.2%

全血比重

真木……1,056 堰の口……1,056

ヘモグロビン (g/dl)

真木……14.2 堰の口……14.4

高血圧出現頻度 (WHO基準140/90以上の者)

真木……50% 堰の口……35%

体重増減率は、真木が肥満Ⅰ度を示しており、堰の口が正常範囲内である。このことは、真木の熱量が穀類、その他糖質の摂取量が多いことから堰の口、所要量より約 500Cal も多いことがひとつの要因とも考えられる。

たん白質、鉄など栄養状態の指標として、全血比重、ヘモグロビンの平均値をみると、両部落とも差はみられ

ない。このことは、両部落とも栄養所要量をかなり上回っているものとも思われる。

高血圧出現頻度は調査時点のものであり、検討するに難点もあると思われるが、高血圧出現頻度の高い真木に糖質 Cal 比が高く、食塩摂取量が多い。食品総摂取量多い→食塩多摂取、過剰熱量→肥満→高血圧のパターンとして、さらに検討を加えたい。

以上、隣接した2部落間に、栄養摂取、食生活の面でかなりの差がみられることが、今後食生活改善をすすめるうえでひとつの課題として考えられる。

以上、真木、堰の口両部落の健康な村づくり運動として、衛生科学研究所、湯沢保健所、雄勝町、雄勝郡医師会、地元民生委員、婦人会等の連けいを持ちつつ、健康診断を中心に調査を実施したが、本県ではじめての例として、その動機から打合せの経過、および調査成績の概略をのべた。

人口動態統計、衛生事業、国民健康保険受診状況等の資料からは特記すべきことはみられなかった。

健康診断の全般的傾向として、総合診断として各分野の継続治療、再検査、経過観察等の上では両地区に大差はみられない。しかし、例数は少ないが、確定診断の様相は異なり、真木において、健診、訪問により、22戸の中、4世帯の家族の中に遺伝性疾患を有すると思われる者がみられ、3世帯に脳性麻痺様の家族のいることが判明したことは注目しなければならない。このことに関しては、血縁関係の要因が十分に考えられ、雄勝町民生委員、加藤氏の資料でも裏づけられる。狭い土地柄だけに目立つことであり、地域保健の上から遺伝相談等により、根本的に解決して行かねばならない。

また、結核患者は、現在いないが、かつては侵入のあ

表30 総合診断

部落	真 木										堰 の 口										合 計									
	男					女					男					女														
	0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	0	15	20	30	40	50	男	女				
性	}					計	}					計	}					計	}					計						
年齢階級	14	19	29	39	49		14	19	29	39	49		14	19	29	39	49		14	19	29	39	49							
受診者数	15	2	5	8	6	11	47	6	1	10	4	8	15	44	4	1	1	3	3	16	28	10	0	5	3	8	18	44	75	88
事項																														
イ (現在のところ心配なし)	12	1	3	4	3	1	24	5	1	6	2	4	2	20	2	1	3	1	2	9	7	5	1	3	1	1	17	33	37	
ロー1 (継続治療)						3	3	1			1	7	9						5	5	1			3	5	9	8	18		
ロー2 (再検査)	1	1		1	1	5	9			4	2	2	3	11	1				2	5	8			1	2	12	15	17	26	
ロー3 (経過観察)	2			2	2	2	8			1	2	3	6	1	1				5	7	2			1	1	2	6	15	12	
要 訪 問			2	1		1	4												1	1						1	1	5	1	

※ダブルチェック ロー1. 2. 3

ったこと、高令者の梅毒反応陽性又は疑いの所見や、風疹ウイルス抗体陽性率等より感染の機会があったことが想定される。

栄養調査においても両地区に大差はみられないが、真木の方がややバランスがよい傾向を示した。

一方、健康な農村づくりの計画、実施のあり方については、さらに一考を要することが反省される。健康農村活動に関しては、昭和³¹年から⁵カ年計画で行なわれた埼玉県千代田村健康農村調査¹⁾が、その代表的なものである。その内容はあくまで、単に住民の健康状態や、保健衛生に関する現状を把握するだけでなく、地域の社会構造、経済、住民の欲求なども知った上で、具体的な活動を行ない村ぐるみの自主的活動をうながしている。今回の真木、堰の口においては、アプローチの第一歩として健診に終わったが、これを基礎に住民の自発的姿にまで、もり立てて行くことが望まれる。本県で行なわれている県民皆健診の具体的な実践のあり方として、ささやかな事例ではあるが二三反省をのべてみたい。

1) 今回の真木、堰の口の健康な村づくり活動の中、健診事業を先行させたが、結果的には成功であったと思われる。その原動力は、雄勝町当局が、両地区への働きかけの必要を認め、自発的に保健所へ要請の形となったことである。しかしながら地区住民の認識から行なわれるのがより理想であることは論をまたない。行政サイドの保健衛生活動は常に住民のこの点への働きかけが最も大切である。今回も、住民の協力は十分に得られながらも、根本問題にふれることなく終わったが、この健診を基盤に、農村健康化への具体的方法の探求と、住民の意欲をよりもり立てる方向に進めていきたいものと思う。

2) 事前打合せは十分に行なわれたが、雄勝郡医師会の当初からの参加依頼をしなかったことは誠に残念なことである。

1日の健診スタッフは、衛生科学研究所、湯沢保健所、雄勝町、雄勝郡医師会合わせて30名であり、この直接担当者以外に、PR、誘導等、かげの力の役場職員、民生委員、婦人会の方々の協力により行なうことが出来たことは、十分に認識しなければならない。

3) 健診結果は、当日終了後ただちに、参加スタッフ全員で、各自分担所見を別紙⁷を用いて、個人別に記入し、役場より通知した。後日に判明する検査所見等で、当日の判定にくいちがいの出た場合と、特に詳細な説明の必要な方々には、保健婦訪問で結果を伝達したことは、今回の健診事業の中で最もよろこばれたことである。

4) 事後管理システムが明確でなく、患者と医療機関、行政サイド（主に保健婦）の連携いは、計画の段階で十分話し合いが必要と思われる。幸い雄勝郡医師会では、斉藤会長はじめ、各科の専門医が直接参加が行なわれたので自然に連携いが出来ているが、一般健診業務のあり方として、重要な問題であり、今後の課題である。

参 考 文 献

- 1) 千代田地区健康農村評価委員会：健康農村活動の評価，1960
- 2) 山本幹夫：地域保健のすすめ方（第20回日本公衆衛生学会特別講演）1963
- 3) 秋田県湯沢保健所：業務概要，1971

参考資料 健康な農村づくり活動の実態調査（案）

（雄勝町，秋の宮，真木部落，堰の口部落）

1. 目的

本県においても、いわゆる健康農村建設、あるいは農村婦人の健康等、健康な農村をつくるための活動が各地で行なわれており、昭和46年よりは県民皆健診の計画が着々と進められている。

このような中で、農山村の健康化への具体的な道を見つけることを目的に、部落単位の総合的な実態調査を行ない、地区診断のアプローチへのパターンを究明するものである。

2. 調査対象

a) 雄勝町，秋の宮，真木部落，戸数22，人口 103名

b) 雄勝町，秋の宮，堰の口部落，戸数21，人口87名

この二つの部落は、戸数、人口、共にモデル地区として、理想的であり、地理的にも国道に面し、中央に小学校があり、健診会場としても便利などところにある。なお地元、雄勝町、湯沢保健所の協力体制もととのっている。

3. 方法

疫学調査，健康調査，環境調査を中心に各々次の事項を行なう。

A 疫学調査

1) 真木部落，堰の口部落の概況（含町村合併前）

a) 一般的な事項

地勢，面積，産業，教育，年中行事，宗教，生活様式，迷信等。

b) 衛生に関係の深い事項

予算，地域団体（衛生に関する）衛生活動（例，成人病，結核健診，母子健康相談，寄生虫予防，家族計画，医療機関，保健婦，助産婦等）

2) 回顧的要因調査

a) 人口動態統計調査

出生，死亡，死因（疾病），婚姻，乳児死亡，新生児死亡，死産，周産期死亡，等

b) 受診状況調査

診療報酬明細書，病院，診療所診療録。

c) 健康診断記録

住民検診，学校保健記録，結核届出者数，成人病（循環器，胃，糖尿病，その他）寄生虫検査，母子保健，（妊産婦，乳幼児，三才児健診），先天異常児（者）

d) 健康調査，環境調査を含む総括的疫学分析

イ) 宿主側の要因

栄養摂取状況，素因（遺伝性疾患），既往疾患，保健指導状況

ロ) 病因側の要因

生物学的（食品，伝染病流行状況，寄生虫等）物理的（地質等）化学的（飯料水，温泉等）精神的要因

ハ) 環境側の要因

自然環境（気象，気候，地理的分布，地位，地形，食物としての動植物等）

社会的環境（産業，職業，労働条件，医療文化水準，在住期間，近親結婚，在職期間，災害，住居条件，人口密度，移動等）

B 健康診断（一次検査）

問診（既往歴，現病，家族歴，妊娠，出産歴，自覚症状，発育状況等）

視診（一般状態，貧血，皮膚，骨，筋肉等）

聴診（心音，不整脈等）

腹部（肝腫大，脾腫大，腎腫大，等）

神経学的所見（反射，病的反射，知覚異常，圧痛，等）

身体計測（身長，体重，胸囲，頭囲）

血圧測定

尿（蛋白，糖，ウロビリノーゲン）

血液（全血比重，血色素量，血糖，血液型，ワッセルマン反応）

胸部X線写真

その他（眼科，耳鼻科，皮膚科，神経科，歯科所見）

心理（健康に対する意識調査も含む）IQ

なお必要に応じ，二次検査（精密）

尿（血球，糖定量），乳児，先天性代謝異常のスクリーニング

血液（赤血球，白血球，血糖，ヘマトクリット，色素指数，血清アルカリフォスファターゼ，血清無機磷，血清カルシウム）

肝機能

糞便検査

染色体検査

心理検査

C 環境調査

a) 水質検査（生物学的検査，化学的検査）

公共河川 飲料水（井戸） かんがい用水

b) 土壌検査

公共用河川底質分析 農業土壌分析（表層部，深層部）

c) 生物検査

食物調査，産米農作物，肉，卵，牛乳等動物製品調査，植物成育調査

d) 労働環境（作業内容，疲労度）

e) 自然環境

4. 調査実施機関，実施時期

湯沢保健所

雄勝町

衛生科学研究所

48年5月7日～12日（月～土）

5. 対策，その他

§ 48年度調査結果健康阻害の要因が（ある程度）具体的に出た場合→解決への方向

§ 具体的要因の得られない場合は，49年度継続とし，精密調査を実施の予定

「健康な農村づくり活動の実態調査」
実施についての打合せ会

1. 期 日 昭和48年4月16日(月)午前10時～午後3時

2. 場 所 衛生科学研究所 参加者 20名

3. 開 会

衛 研 次 長 奥 山 武

4. あいさつ

衛 研 所 長 児 島 三 郎

湯沢保健所 所 長 藤 井 十 二 郎

雄勝町 住民福祉課長 佐 藤 吉 之 助

5. 話 合 い

進 行 生活科学部長 伊 藤 玲 子

1) 経 過

2) 実施要領

3) 健診手順ならびに人員配置

4) 健診器材について

5) 案内状について(地元打合せ会を含む)

6) カルテについて

6. 閉 会

次 長 奥 山 武

健康な農村づくり活動の実態調査実施要領

1. 目的

本県においても、いわゆる健康農村建設、あるいは、農村婦人の健康等、健康な農村をつくるための活動が各地で行なわれており、昭和46年よりは県民皆健診の計画が着々と進められている。

このような中で農山村の健康化への具体的な道を見つけることを目的に、町村部落単位の総合的な実態調査を行ない、地区診断のアプローチへのパターンを究明するものである。

2. 調査実施機関

湯沢保健所

雄勝町

衛生科学研究所

雄勝郡医師会（協力）

3. 調査対象

a) 雄勝町秋の宮真木部落 戸数22 (103人)

b) 雄勝町秋の宮堰の口部落 戸数21 (87人)

4. 調査実施時期、場所

昭和48年5月8日～9日

秋の宮小学校

5. 調査方法

疫学調査、健康調査を行ない、その結果に基づき、必要に応じ環境調査を、他の時期に行うものとする。

A 疫学調査

1) 真木部落、堰の口部落の概況

a) 一般的な事項

地勢、面積、産業、教育、年中行事、宗教、生活様式、迷信等。

b) 衛生に関係の深い事項

予算、衛生に関する地域団体、衛生活動（例、成人病、結核、母子、寄生虫、家族計画）医療機関、保健婦、助産婦等。

2) 既存資料による調査

a) 人口動態、統計調査

出生、死亡、死因（疾病）、婚姻、乳児死亡、新生児死亡、死産、周産期死亡等。

b) 受診状況調査

診療報酬明細書、病院、診療所診療録。

c) 健康診断記録

住民検診、学校保健記録、結核届出者数、成人病、寄生虫検査、母子保健、先天異常児（者）等。

B 健康調査

両地区の住民全員に対し、下記により健康診断を実施する。

1) 一次健診

問診（既往歴、現病、家族歴、妊娠、出産歴、自覚症状、発育状況等）

視診（一般状態、貧血、皮膚、骨、筋肉等）

聴診（心音、不整脈等）

腹部（肝腫大、脾腫大、腎腫大等）

神経学的所見（反射、病的反射、知覚異常、圧痛等）

身体計測（身長、体重、胸囲、頭囲）視力、色神

血圧測定

心電図, 胸部X線写真

尿 (蛋白, 糖, ウロビリノーゲン)

血液 (全血比重, 血色素量, 血液型, 血糖, ヲ氏反応)

その他 (眼科, 耳鼻科, 神経科, 皮膚科, 歯科所見)

心理, IQ (健康に対する意識調査も含む)

※乳児に対し, 先天性代謝異常のスクリーニング

2) 二次健診 (昭和49年度実施予定)

必要に応じ, 二次検査を行なう。

尿 (血球, 糖定量, 蛋白定量)

血液 (赤血球, 白血球, 血糖, ヘマトクリット, 色素指数, 血清アルカリフォスファターゼ, 血清無機磷, 血清カルシウム等)

肝機能検査

糞便検査

心理検査

染色体検査

3) 栄養調査

下記により, 栄養調査を, 健康診断に合わせて行なう。

a) 対象

両地区, 各世帯の30~59才の男子1名あて

b) 調査内容及び方法

栄養摂取量 (食事買上方式, 健診前日1日分)

食品群別摂取量 (食事買上方式, 健診前日1日分)

ミネラル分析 (食事買上方式, 健診前日1日分)

6. 調査実施手順

a) 衛生科学研究所内打合せ 3月24日(土)

b) 湯沢保健所, 雄勝町, 衛生科学研究所打合せ (調査分担, その他) 4月16日

c) 真木, 堰の口部落に対する依頼ならびに説明会 4月末

7. その他

疫学調査および健康調査 (一次) の結果により必要に応じ, 10月頃環境調査を行なう。

なお, 具体的要因の得られない場合は, 49年度継続とし, 二次健診を実施の予定。

別紙4

健診手順ならびに人員配置

- A 調査地 雄勝町, 秋の宮, 真木部落, 堰の口部落
 B 対象 真木 22戸 105名 堰の口 21戸 87名 (部落全員)
 C 実施月日 48年5月8日……真木部落
 5月9日……堰の口部落
 D 実施場所 秋の宮小学校
 E 健診要領

事項	従事者		医師	技 師		保 健 婦			助産婦	助 手
				保健所	衛 研	公衆衛生課	保健所	町		
1 受付	台帳照合, 食事受付									3(役場)
	尿コップ配布(検尿)			1						
2 問診							2	2		
3 血圧							1		1	
4 採血	採血						1			
	比重測定				1					} 1
	ヘモグロビン				2					
	血液型				1					
5 心電図					1					1
6 レントゲン写真					1					1
7 計測	身長・体重・胸囲・頭囲					} 1				} 1
	色 神・視力									
8 診察	内科		1							1
	神経科		1							1
	眼科		1							1
	耳鼻科		1							1
	皮膚科		1							1
	歯科		1							1
	小児科		1							1
9 心理判定			秋田大学 2 児童相談所 1							

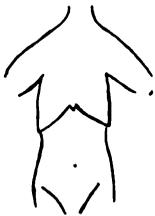
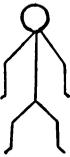
雄勝町健康調査用具

検査項目	機材	必要数	消耗品	必要数
1. 診察	用具電燈	2	個人票	
	ハンマー	2		
	舌圧子	100		
	コップ	4		
2. 身体計測	身長計	大人用 1, 小児用 1		
	体重計	大人用 1, 小児用 1		
	メジャー	2		
3. 血圧測定	血圧計	大人用 2, 小児用 2		
	聴診器	4		
4. 心電図検査	心電計	2	検査用紙	
5. 胸部X線検査	レントゲン装置	1	四ツ切フィルム	200枚
6. 尿検査			ウリスチックス	
			ウロビリノーゲン試薬	
			尿コップ	200
			中試験管	200
7. 血液検査	(採血用具)		5 cc 注射筒, 針	200
	(比重測定)		小試験管	ワ氏用 200
	(比重測定)		全血比重測定硫酸銅	2セット
	血液型検査ホールグラス	12枚	診断用血清	3セット
			カット針	2箱
			竹棒	500本
			ガゼ	1反
			アルコール(消毒用)	2本
			綿	
	ヘモグロビンメーター	1		
	(ザーリ氏血色素検査)	4		
8. 先天代謝障害診断			ウリテストS(第一製薬)	3セット
			診断用濾紙(N _o 15)	
9. 栄養調査				

世帯No. 健康な農村づくり活動の実態調査個人票 昭和 年 月 日実施

氏名		男 女		明 大 昭		年 月 日 生 満 才 月								
世帯主		続柄		世帯人員		名								
現住所		現住所 居住期間		通算		年間								
出生地		1 現住所と同		2 県内 () 3 他 県 () 4 不 明		主な家業								
職 業		1. 本人の現職		2. 現職の従事期間		年 月 3. 最も長く従事した仕事								
家 族 歴	実 父	健 病 気 (才)	死 亡 (才)	死 因 (才)	兄 弟 姉 妹	順 位	1	2	3	4	5	6	7	
		健 病 気 (才)	死 亡 (才)	死 因 (才)		性								
		健 病 気 (才)	死 亡 (才)	死 因 (才)		健								
		健 病 気 (才)	死 亡 (才)	死 因 (才)		病								
既 往 歴		1. 高血圧 才 6. 骨関節疾患 才 11. 外 傷 才 ()		調 査 時 受 療		な し ・ あ り								
嗜 好 ・ 食 生 活		25才頃：毎日 合、日に1回位・のまない 現在：毎日 合、日に1回位・のまない (2人以上で飲む機会)1ヵ月に 回		多くのむ順位		酒の種類								
嗜 好 ・ 食 生 活		25才頃：1日平均 本位吸った・吸わない 現在：1日平均 本位吸う・吸わない		1ヵ月の消費量		酒の肴について								
嗜 好 ・ 食 生 活		塩辛い味：好き・普通・きらい 甘いもの：好き・普通・きらい		主にたべるもの		飲酒後・ごはんを								
食 生 活		1日にご飯は 杯位・味噌汁は 杯位・魚は 日に 回・肉は 日に 回・卵は 日に 回 油は 日に 回・牛乳は 日に 回・本・お菓子は 日に 回・果物は 日に 回・漬物は 日に 回		魚・肉・卵・豆腐・野菜・つけもの・つまみ類		必ずたべる・たべたりたべなかったり・食べない								
自 覚 症		症 状 持続期間		症 状 持続期間		症 状 持続期間								
自 覚 症		C 区 分 なしあり 時々いつも		N 区 分 なしあり 時々いつも		D 区 分 なしあり 時々いつも								
自 覚 症		1全身倦怠感		1頭 痛		1味の 変化								
自 覚 症		2つかれやすい		2耳 なり		2鼻・咽頭乾燥感								
自 覚 症		3体重減少		3め まい		3のどのいらいら								
自 覚 症		4食慾不振		4肩 こり		4鼻 汁								
自 覚 症		5口 渴		5の ぼ せ		5鼻 づ まり								
自 覚 症		6よ だ れ		6不 眠		6嗅 覚 異 常								
自 覚 症		7胃の不快感(もたれ)		7た ち くら み		7筋肉のけいれん								
自 覚 症		8悪 心		8息 切 れ		8関 節 痛								
自 覚 症		9嘔 吐		9ど う き		9神 経 痛								
自 覚 症		10下 痢		10前 胸 部 痛		10上 下 肢 痛								
自 覚 症		11便 秘		11胸 部 絞 扼 感		11胸 痛								
自 覚 症		12せ き		12脈 の 乱 れ		12腹 痛								
自 覚 症		13た ん		13夜 間 呼 吸 困 難		13腰 痛								
自 覚 症		14お ち つ か な い		14む く み		14								
自 覚 症		15		15夜 間 多 尿		15								
自 覚 症		16		16胃 薬 の も つ れ		16								
自 覚 症		17		17手 足 の 感 覚 異 常		17								
自 覚 症		18		18運 動 の 異 常		18								
妊 娠 ・ 産 婦		妊娠回数 回		出生数 回		流 産 回								
妊 娠 ・ 産 婦		中絶回数 回		月 経 1. 順 2. 不 順 3. な し 4. 妊 娠 中		死 産 回								
備 考		な しの 場 合 閉 経 才												

別紙 6-2

世帯No.	氏名		男女	明大正	年	月	日生	満	才	月	
一 般 検 査											
計 測		血 圧		尿		血 液					
身長	cm	/		蛋 白	- + #	血液型	型 Rh - +				
体重	kg			糖	- + #	全血比重					
胸 囲	cm			ウロビリノーゲン	- +	血色素					
頭 囲	cm			先・代・異常スクリーニング		血 糖	mg/dl				
肥満度	%					ワ氏反応	- +				
特 殊 検 査											
肝 機 能		肺・骨・X線		尿		血 液					
				尿沈渣		赤血球	万:その他				
				蛋白定量		白血球					
				糖定量		ヘマトクリット					
						血清アルカリ フォスファターゼ					
				血清無機磷							
				血清カルシウム							
精 神 発 達					精 神 医 学 的 所 見						
I.Q.											
身 体 状 況	眼	視 力	左()右()	色 神	正・異()	眼疾					
	耳鼻	聴 力	正・異()	耳疾							
	咽喉	鼻・咽喉・	正・異(扁桃肥大・アデノイド・上顎洞炎・)								
	皮膚	正・異()									
	歯	う 歯	本(処置 本)	歯の色異常	なし・あり	口腔疾患	なし・あり	・	その他の異常	なし・あり	
脊柱	正・異() 胸 廓 正・異()										
一 般 内 科 所 見	胸部所見	腹部所見		反射	知覚	圧痛					
	心雑音+ -										
特記事項・その他											

健康診断結果のおしらせ

殿 才 地区

今日の健診の結果あなたは

イ 特別心配なことはありません。

ロ 次のことについて

1. つづけて治療をうけて下さい。
2. もう一度検査をうけて下さい。
3. 日, 月, 間様子をみてそのあと医師に相談して下さい。

()

検査結果

- | | | | | | |
|---------|--------|--------|--------------|----|----|
| 1. 身長 | cm | 体重 | kg | 胸囲 | cm |
| 2. 血圧 | ～ | | | | |
| 3. 血液型 | 型 | | | | |
| 4. 尿 | 蛋白 () | 糖 () | ウロビリノーゲン () | | |
| 5. 心電図 | 異常なし | あり () | | | |
| 6. 診察結果 | 異常なし | あり | | | |

()

※ 以上の外に、なお注意することがあとでわかりました時は追ってご連絡申し上げます。

昭和 48 年 4 月 28 日

殿

雄 勝 町 長 金 沢 此 助

総合健康診断について（お願い）

雄勝町に於ては、昭和48年度において県民皆検診のもとに、健康な町づくりの推進のため秋田県衛生科学研究所、保健所の指導のもとに、秋の宮地区の真木部落、堰の口部落をモデル部落として、部落民全員の健康診断を実施することになりました。

就ては、この部落から、あなたのところに、勤務、就学しておられる、次の方々をぜひ検診に参加させて下さるように、特段のお願い申し上げます。

記

期 日	5 月	日	真 木 部 落 の 方
		日	

場 所 秋 の 宮 小 学 校

◎ 当日午後 1 時 30 分頃、役場の車でお迎えに行きます。

昭和 48 年 4 月 27 日

真木, 堰ノ口住民各位

雄勝町役場 住民福祉課

総合健康診査のお知らせ

新緑の候、みなさまには益々御清勝のことと存じ、お慶び申し上げます。

さて、県では秋田県民の健康を守る県民皆検診事業を推進し実施しております。この度、当町では県より部落単位のモデル地区に指定を受け、農村の健康を守り明るい豊かな農村づくりの一環として住民の健康管理に力を入れることになり、目下総力をあげて準備しております。

この健康診査は、県衛生科学研究所ならびに保健所の協力により、これまでほとんど健康診断の行なわれなかった地区を優先的に行なうことになり貴部落が、その該当地区になりました。

下記により部落全員の健康診断を行ないますので、万障おくり合わせの上ご参加下さるようお願いいたします。

記

- 実施月日 昭和48年5月8日(真木部落)
9日(堰ノ口部落)
- 場 所 秋の宮小学校
- 時 間 午前9時30分～午後3時
- 健診内容
 1. 問 診
 2. 診 察 (内科, 眼科, 皮膚科, 小児科, 耳鼻科, 歯科)
 3. 身 体 計 測
 4. 血 圧 測 定
 5. 心 電 図 検 査
 6. 胸 部 X 線 写 真
 7. 尿 検 査
 8. 血 液 検 査
 9. 心 理 検 査
 10. 栄 養 調 査